

中村三奈子さんをさがす会会報



平成16年4月23日発行第4号
中村三奈子さんをさがす会
代表 金井 英雄
090-4279-4724

まっているよ
三奈子さん!!

三奈子さんが行方不明になってからちょうど6年目にあたる4月6日の夜、長岡市立中央図書館で、「さがしています 中村三奈子さん大集会」を開催しました。4月早々の忙しい時期にもかかわらず、参加総数約100名余の盛大な会になりました。心より感謝申し上げます。

市長さんからは、「支援の輪を広げることがご家族の支えになる。活動が実を結び、再会できる日を望んでいる。市としてもできる事は何でも協力していきたい。」という心強いお言葉をいただきました。また、新潟における協力者、小島晴則様からは、「三奈子さんは、拉致か拉致でないかははつきりしていないが、真相解明に努めている。三奈子さんが無事帰ってくることを祈っている。」というご挨拶をいただきました。

当日参加いただいた来賓のみなさま

長岡市長（森 民夫様） 新潟県議会議員（松川キヌヨ様） 長岡市議会議長（小熊正志様）
特定失踪者問題調査会 専務理事（真鍋貞樹様） 新潟での協力者（小島晴則様） 長岡市議会議員（大地正幸様、五十嵐清光様、竹島良子様、笠井 則雄様、関 貴志様、桑原 望様） 長岡市役所福祉保健部長（本田史朗様） 長岡市中央図書館館長（稻川明雄様）

また、「さがす会」では、三奈子さんの失踪から今日に至るまでの過程を構成劇にして発表しました。

会場には、三奈子さんが小さい頃よく歌っていた『象さん』の曲や、高校生の頃よく聞いていた映画のテーマ音楽が静かに流れ、壇上のスクリーンには、幼かった三奈子さんが中学、高校と元気に成長していた思い出の一こま一こまが映し出されていました。そんな三奈子さんの姿から、誰がこのような出来事を想定したでしょうか。



いなくなる前の日、夜遅くまでお母さんの学校の仕事を手伝ってくれた思い出を最後に、あなたは何の予告もなしに突然いなくなってしまいました。その日から6年、お母さんは、ただただあなたの帰りを待っているのです。

「待っているよ 三奈ちゃん!!」 お母さん、そして、みんなの願いが三奈子さんに届くことを祈りながらの劇の発表でした。

講演 『失踪と拉致について』

講師 特定失踪者問題調査会 専務理事 真鍋貞樹様

（前略…） 三奈子さんの失踪は、拉致か拉致でないかは今のところ不明。しかし、陰に人物が複数いることは間違いない。

理由①ユニオン航空でチケットを取る時の不思議なやり取り

②新潟空港で搭乗券を受理した女性は三奈子さん？

③自宅に放置されたままの自転車

④図書館で行われた映画の試写会への一人での参加

これらをつぶさに調査していくことで、事実が見えてくる。一般論として若い女性を拉致する場合、図書館、レストラン、銀行、自動車教習所などといった場所がマークされて、家族、友人はもちろんのこと、本人も知らない間に工作の糸に巻き込まれてしまうケースが多い。政府や警察に任せきりにしないで、社会全体、国民全体で解決していかなければという意識をもって、ご家族に協力していただきたい。

お礼のことば

さがす会を結成して半年が経ちました。この間、会としましても必死にさがしてまいりましたが、有力な手掛かりが得られていません。ご家族のお気持ちを考えるとき、一日でも早く三奈子さんに再会できるよう願わずにはいられません。三奈子さんに再会できるまで皆さんと共に頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

代表 金井 英雄

「今日こそ帰ってくるだろう。」「明日こそきっと。」と、毎日思いながら、6年が過ぎてしまいました。集会では、三奈子の失踪当日のことがまざまざと思い出され、胸が詰まる思いがしていました。一日でも早く「お母さん三奈子だよ。」と帰ってきてくれることを祈っております。これからも変わらぬご支援ご協力よろしくお願ひいたします。

中村 クニ